

KiKiの広場

2012年 11月 1日

cafe NO.25
KiKi



出入口の大きな鉢に植えてあるフェイジョアの木に、今年は実がたくさん生りました。暑い夏の間、毎日朝夕交替で、せっせと水やりしたかいがありました。風に吹かれて面白いようにコロコロ落ちてきます。先日も木の側に立っていると、ポーンと頭の上に落ちてきてびっくり！結構痛かったです。でも元気に育ってくれているのを見るのは嬉しいですね。おまけにそのかたい実の中身はとってもおいしいんです。内緒ですけど♡

11月の予定

13日(火) 休館日



「今月のケーキ」…「モンブラン」300円



クッキー生地は、北海道産えびす南瓜のペーストとアーモンド粉を練り込んで焼き上げ、フランス産高級マロンペーストをたっぷり使用したモンブランです。

今月のお気に入り…「うさぎが出てくる絵本」

～「にんじんケーキ」「うさぎのマシュマロ」「うさぎとかめ」「うさぎのみみはなぜながい」 などなど～



春に猫の絵本をご紹介しましたが、今回はうさぎの絵本を集めてみました。「にんじんケーキ」は、うさぎの新婚さんが夫婦漫才のようなやりとりのあげくけんかになって、最後は仲直りしてにんじんケーキを食べるといってお話です。若いカップルが初めて一緒に生活する、とまどいやぎこちなさが描かれているかわい本です。「うさぎのマシュマロ」は、猫のオリバーが初めて見るうさぎにびくびくしながらも、無邪気な赤ちゃんうさぎと触れ合ううち、わが子のようにかわいがるようになるお話です。何といても、マシュマロの絵と仕草が愛らしくて、オリバーがしたように抱きしめたい絵本です。



今月の本欄…「グリム童話の世界」

～「七つのからす」「つぐみのひげの王さま」「こびとのくつや」「灰かぶり」「ねむりひめ」「ラプンツェル」などなど～



グリム兄弟が、近所の娘さんたちから聞き書きしたおはなしを中心にまとめたのが、「グリム童話集」です。この本が出版されて、今年で200年です。本当はきちんと訳されているものの語りを聞くのが一番いいのですが、その内容にあったすばらしい挿絵がある絵本もたくさんあります。

昔ばなしの残酷性のみを強調したり、教訓として勝手に解釈を付け加えたりされるのを見ると悲しくなりますが、この機会になぜグリム童話がずっと愛されてきたのか知ってもらえればと思います。どうぞ、本物のグリムの世界を味わってみてください。



ほっとフレイク

お父さんと8か月の赤ちゃんがご来店。パパと赤ちゃんのペアというのは初めてです。バギーの中で大人しくしている赤ちゃんが目合ったので、ジジの指人形を動かすと興味津々で、お父さんが絵本を見せても、「ぜんぜん見てないし。」と言われるくらいずっとこちらを見ていました。(余計なこととしてごめんなさい。) そのうちぐずりだしたので、お父さんが一生懸命あやし始められました。ところがどんどん泣き声が激しくなってお父さんも焦り始めた頃、突然、「ママー！！」と赤ちゃんが叫びました。「えっ？今ママーって言った？」「えっ？えーっ？」とお父さん。ちょうどスタッフの交代の時間でYちゃんも来ていたのですが、私たちに向かって「今、ママって単語言いましたよね？」と聞かれたので、二人してブンブンと頭を立てに振ると、「わあ～、初めて単語しゃべった～！」と感動されていました。その後も泣き止まないの、抱き上げてあやしておられましたが、「こうやって僕が抱っこして寝てくれたことないんです～」と心細そうなお父さん。でも、ついにその瞬間はやってきました。



寝ちゃったのです。「あ～、初めて寝た。すごい！今日初めてのことばかり！」と、とっても嬉しそうなお父さん。私たちも胸をなでおろしました。ほんの数十分ですが、若いお父さんと一緒にハラハラドキドキ、そして、ほっとするような温かくてなんだか懐かしい出来事でした。(^-)-☆